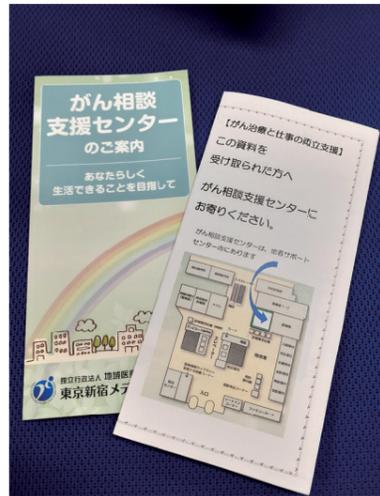


治療と仕事の両立について心配な時は、がん相談支援センターへご相談ください

がん相談支援センター 太田 英恵

2021年10月から「がん治療と仕事の両立に関する相談支援」の取り組みを開始しました。

がんと診断された方には、治療方針決定時にパンフレットをお渡しし、がん相談支援センターにお寄りいただくようご案内しています。



て、企業や医療機関など社会全体で進めている取り組みになります。

がん患者の約3人に1人は、20代から60代でがんに罹患(*1)し、仕事をもちながらがん治療を続けています。また、がんと診断を受けて退職・廃業した人は就労者の19.8%、そのうち、初回治療までに退職・廃業した人は56.8%(*2)となっており、診断後早い時期から治療と仕事の両立について気軽に相談できる体制が求められています。

- *1 「平成29年全国がん登録罹患数・率報告」より
- *2 厚生労働省委託事業 「平成30年度患者体験調査報告書」国立がん研究センターがん対策情報センターより

まだまだスタートしたばかりの取り組みですが、少しでも、治療中も安心して仕事を続けていくことができるよう、一緒に考えていきたいと思っています。ぜひ、がん相談支援センターにお立ち寄りください。

がん相談支援センターは、そのほかにもいろいろなご相談をお受けしています



がん相談支援センター(患者サポートセンター内)
03-3269-8137(直通) 平日9:00~16:00

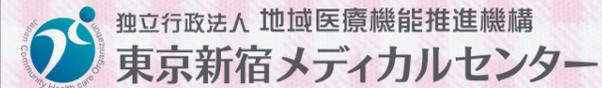
がん相談支援センターの窓口にお寄りいただくと、「今日は時間がないので次回外来の後話したい」「入院してからゆっくり聞きたい」などのご希望に応じて相談の日時のお約束をさせていただきます。少しずつですが、窓口に寄り予約をしてくださる方が増えてきています。

お仕事や生活などの不安や心配ごとのお話を伺っていると、「コロナ禍で収入が減ったので早く仕事に戻らない」という切実なお話や、「今までは仕事ばかり一生懸命やってきたけれど、病気になってみて色々なことを考えた。少しゆっくりしようと思う」「働いているのが好きだから、無理はしたくないけれど早く仕事に戻りたい」など、それぞれの方の価値観・考え方に触れることとなります。様々な制度などの情報提供のみならず、仕事のこと、病気のこと、家族のことなどを踏まえ、これからどう生きていきたいのか、につながっている相談だと思っています。

この「がん治療と仕事の両立支援」は、国を始めとし



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京新宿メディカルセンター
発行: JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会
〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1
電話 03-3269-8111 (代表) URL: http://shinjuku.jcho.go.jp



がん診療情報誌

いきいきかぐらざか

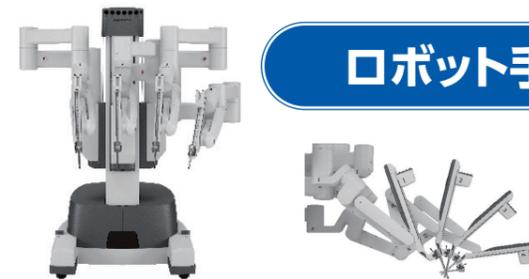
れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会



れんげ草

ロボット手術のいいところ



外科の高野道俊です。JCHO東京新宿メディカルセンターで主に大腸がんの診療を中心に一般的な外科疾患の治療を担当しています。2022年4月からすべての大腸がんに対してロボット手術が保険適応になりました。当院外科でもこの7月からロボット手術を行っています。

『ロボット手術』という言葉テレビでも見聞きするようになり「なんだかすごそう」や「本当に安全なのか」、「腹腔鏡手術とは違うの」などという質問を頂戴することがあります。そこで今回は開腹手術と腹腔鏡手術、ロボット手術の違いについて、特に腹腔鏡手術とロボット手術に関してご紹介します。ロボット手術(ダビンチ)については当院泌尿器科の木藤医師の記事もご覧ください。

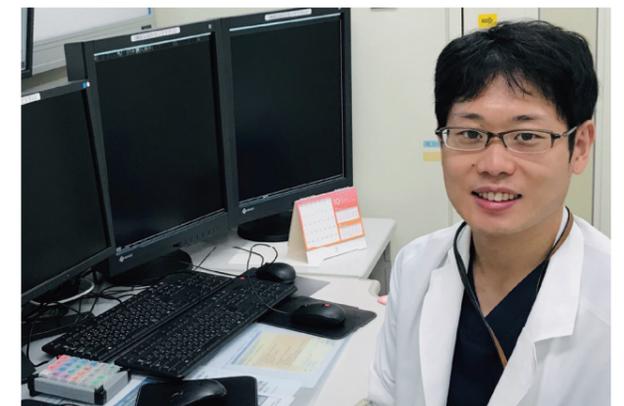
泌尿器科の木藤医師の記事



手術の方法には大きく分けて開腹手術と、腹腔鏡手術があります。腹腔鏡手術ではお腹を炭酸ガスで膨らませてカメラを挿入し鉗子と呼ばれる道具を使って手術を行います。開腹手術に比べ創が小さいため術後の痛みが少なく、術後の回復が早いという特徴がありますが開腹手術に比べ様々な制限を受けます。ロボット手術では腹腔鏡の制限をできるだけ少なくなるように設計されています。

ロボット手術には大きく分けて3つの利点があります。

- ①人間の目より見える
 - ②人間の手より曲がる
 - ③人間の手より繊細に動く
- 順番に解説していきます。



外科医長 高野 道俊

①人間の目より見える

炭酸ガスで膨らんだ暗い腹腔内を照らすためカメラには2つのレンズと1つのライトが内蔵されています。視差を利用した3D効果、単眼のカメラにはない立体視効果があります。またカメラは最大15倍まで拡大することが可能で肉眼でも見えないような細かい組織まで確認できます。また、特殊な光と血管の造影剤を使うことで組織の血流を確認することもできます。

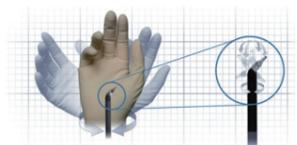


参考動画



②人間の手より曲がる

ロボット手術で使用される手術器具は先端に2つの関節がついており、人間の手と同等以上の関節可動域があります。これにより回転、上下左右と自由自在に動かすことが可



能です。執刀医の細かい動きまで再現可能で繊細な手術が可能になります。今までの腹腔鏡手術ではできなかった角度での手術が可能になります。関節があることで針と糸で縫合を行う際も角度や向きなどを自由自在に扱えるためより人間の動きに近い動作が可能です。



参考動画



③人間の手より繊細に動く:モーションスケール

動かした手の幅を縮小して伝える機能です。例えば3:1に設定すれば手を3cm動かすと手術器具は1cm動くというものです。これによって狭い空間の中で腫瘍を取り除きかつ、神経を温存するような繊細な手術が可能になります。

開腹手術の良さは外科医の手を自由に使えるという利点があり、腹腔鏡手術には小さな傷で手術が可能、高性能カメラによって拡大された画像を見ることでより繊細な手術ができるという利点があります。この二種類の手術の利点を両方持つのがロボット手術だともいえます。一方執刀医が直接道具を使って手術をしないため、触覚がありません。それゆえのロボット手術特有の合併症もあります。そのためロボット手術専用のトレーニングを受けることが必要となります。

ごく簡単にまとめると

- ①体への負担 ロボット手術＝腹腔鏡手術<開腹手術
 - ②見え方 ロボット手術>腹腔鏡手術>開腹手術
 - ③道具の動かしやすさ 開腹手術>ロボット手術>腹腔鏡手術
 - ④繊細さ 開腹手術>ロボット手術>腹腔鏡手術
- といったイメージでしょうか。

最後になりますが、当院では患者さまの病気の進み具合やお体の状態を総合的に判断しています。手術に限らず抗癌剤や放射線治療なども併用しながら病気を治しつつ、できるだけ体の負担の少ない治療を行うべく日々治療にあたっています。病気のことだけでなく、お仕事や悩みなどについても相談できる体制もありますのでお気軽にご相談ください。

がん治療における食事サポート

栄養管理室 浦本 和美

私たちは毎日の食事で健康を守るための栄養素や水分を補っています。抗がん剤や放射線治療が始まると食欲を低下させるさまざまな副作用が起こったり、手術のダメージや臓器を失うことで消化吸収が低下し、一時的に食事が思うように食べられなくなることがあります。そのようなときは、負担を軽減し、無理のない範囲で効率よく栄養をとることが大切です。当院では、以下の通りさまざまな食事があり、患者さまに最も適した内容を考えて提供致します。

かぐら食について

吐き気や嘔吐で水も飲めないほど辛くなることもあれば、ムカムカするけど少量ならば食べられるなど、症状は日によって変化します。「かぐら食」はさまざまな症状や嗜好に対応ができるよう、管理栄養士が聞き取りを行い、患者さまが食べたいと思う食品を選んでいただく当院独自のオーダーメイド型の食事です。地域の“神楽坂”にちなみ「かぐら食」と名付け、少しずつ食品数を増やしてきました。

がん治療に対応している食事の内容

少量しか食べられないときの食事	ハーフ食(食事の量を半分で提供) 胃術後食(消化に配慮した食事と少量のおやつを分割で提供)
噛む力が弱い方の食事	3分粥食、5分粥食、やわらか食、ミキサー食、ペースト食、ゼリー食、きざみ食など
口腔内・口角・口唇に炎症があるときの食事	酸味・辛味・固いものなど刺激のない食事、きざみ食、やわらか食など
吐き気や嘔気などで普通食では食欲がわからない時の食事	かぐら食(嗜好に応じて食品を組み合わせるオーダーメイドの食事)
飲み込みが悪い方の食事	嚥下困難食(ゼリー、ペースト、極小とろみ)
感染予防が必要なときの食事	料理はすべて加熱済みの食事(生野菜・果物・温泉卵など禁止、飲み物などはパック入りの個包装で提供)
においが気になるときの対応	冷配膳、ふた付きで提供
ごはんがすすまないときの対応	パンやうどん・そば・冷や麦などに変更
栄養が十分にとれないときの対応	栄養補助食品などを活用



ロールケーキ

高カロリー
栄養ドリンク



のど越し良い
お蕎麦で
食欲アップ効果!

現在のかぐら食のメニュー(下記より3品程度選択)	
主食	おにぎり(塩/梅)、全粥、五分粥、三分粥、重湯 ロールパン、食パン、クリームパン、ジャムサンド 麺類(温or冷:うどん・蕎麦・ひやむぎ)、焼き そば、いなりずし、お好み焼き、たこ焼き
主菜	本日の主菜1品(通常メニューから選択) 温泉卵、冷奴、湯豆腐、卵豆腐、ゴマ豆腐、焼 売、エビ焼売、餃子、オムレツ、コロッケ、ハン バーグ、かき揚げ
副菜	本日の副菜1品(通常メニューから選択) トマトゼリー、チーズ、生果物、フルーツ缶 かぼちゃスープ、コーンポタージュ、コンソメ スープ、味噌汁
佃煮類・漬物	梅干し・のり佃煮・ねり梅・ゆずみそ・たいみ そ・ふりかけ各種
菓子	クッキー、ゼリー、プリン、アイス(バニラ、スト ロベリー、チョコレート)水饅頭、どら焼き(カ スタード味)、ロールケーキ、おはぎ、蒸しパ ン、スイートポテト、カステラ、マドレーヌ、カ スタードケーキ、エクレア、シュークリーム
飲み物・乳製品	牛乳、りんごジュース、オレンジジュース、ぶど うジュース、野菜ジュース、 高エネルギージュース、ヨーグルト、ジョア(マ スカット、プレーン味)、ヤクルト、オリゴ糖入 り飲料(マスカット、ヨーグルトサワー味)
栄養補助食品	栄養補助飲料、高エネルギーゼリー、高たん ぱくゼリーなど各種

飲み込みが悪い方の食事について

口腔癌・舌癌・歯肉癌・食道癌、頭頸部の放射線治療では、食べ物を咀嚼したり飲み込んだりすることが非常に困難になります。圧力鍋を使って歯ぐきでつぶせる固さにしたり、料理を細かく刻んだり、ブレンダーでスープ状やペースト状に加工します。お粥は“でんぷん分解酵素”を使ってゼリー粥を作っています。ゼリー粥はべたつかず、のど越しがよく、誤嚥防止になります。患者さまそれぞれの食べる機能や特徴に合わせて素材を指定して刻んだりとろみを調整したり、少量で高栄養の栄養補助食品を取り入れています。



ゼリー食 ペースト食
極小とろみ食
(粒あり粥)

管理栄養士はどこにいるの？

当院は各病棟に担当の管理栄養士がおります。患者さまの栄養状態や摂取状況を確認しながら食事の調整を行い、医師・看護師・薬剤師とともにがん治療のサポートをしています。また、入院・外来ともに栄養食事指導を実施しております。がん治療中の食事や栄養のご相談がございましたら、どうぞお声かけください。より良い方法を一緒に考え、ご提案してゆきたいと思っております。

